

## 令和7年度決算の概要

### 1. 教育・研究および医療環境の整備

#### (1) [教育関係]

- ① 御井学舎  
御井本館教室のマルチメディア設備の更新
- ② 医学部  
旭町学内 LAN 基盤ネットワーク機器の更新
- ③ 附設高校校  
特別教室棟の新築工事

#### (2) [研究関係]

- ① ダイバーシティ・インクルージョン (DI) 推進室の  
大学附置センター化

#### (3) [医療関係]

- ① 医療連携センター機能の一部移設と「検査予約カウンター」の新規  
開設
- ② 「医療センターの再編及び大学病院との機能統合」に向けた対応

#### (4) [地域連携]

- ① 久留米大学社会貢献活動振興基金規程の制定
- ② 鳥栖市との包括的な連携に関する協定締結

### 2. 財務状況

#### 【事業活動収支の状況】

事業活動収入計の666億4千1百万円から、事業活動支出計の688億5千2百万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、マイナス22億1千1百万円となり、予算比で24億1千3百万円の減となりました。

内訳として、経常収支差額はマイナス2億2千9百万円となり、予算比では2億7千5百万円の減となりました。収入では、経常費等補助金、付随事業収入および雑収入が増となりました。支出では、教育研究経費(医療経費含む)および徴収不能額等が増しています。

臨時的な収支を示す特別収支差額はマイナス19億8千2百万円、支出では私立学校法改正による会計基準の変更等による増加など、予算比で22億3千8百万円の減となりました。ただし、この特別収支差額の大きな数字の動きについては令和7年度のみの特異な事情によるものです。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計 24 億 1 千万円を差し引いた当年度収支差額は、46 億 2 千 1 百万円の支出超過となりました。

不安定な国債情勢など見通しが困難な環境下ではありますが、令和 8 年度は 6 月に診療報酬の大幅な引き上げが予定されております。今後も安定した財務基盤確立に向け、本業である教育活動収支の改善を図るなど、基本理念、将来構想の実現に向けて取り組んでまいります。

### 【資金収支の状況】

収入の部小計の 1, 196 億 3 千 2 百万円から、支出の部小計 1, 161 億 1 百万円を差し引いた当年度収支差は、35 億 3 千 1 百万円となり、予算比では 34 億 8 千 6 百万円の増となりました。

予算比の主な増減は、事業活動収支状況に加えて、収入の部では資産売却収入、補助金収入および受取利息・配当金収入の増、支出の部では施設・設備関係支出が減、資産運用支出が増となりました。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は、110 億 1 千 3 百万円となりました。

### 【貸借対照表の状況】

資産の部合計は 1, 198 億 1 千 7 百万円で、前年度比 24 億 5 千 6 百万円減少しています。一方、負債の部合計は 309 億 9 千 9 百万円となり前年度比 2 億 4 千 5 百万円減少しています。基本金と繰越収支差額を合計した純資産は 888 億 1 千 8 百万円となり、前年度比で基本金組入前当年度収支差額分の 22 億 1 千 1 百万円減少しています。

◎財務書類等（財産目録・貸借対照表・収支計算書・事業報告書・監査報告書）の閲覧の請求は、財務部経理課で承ります。